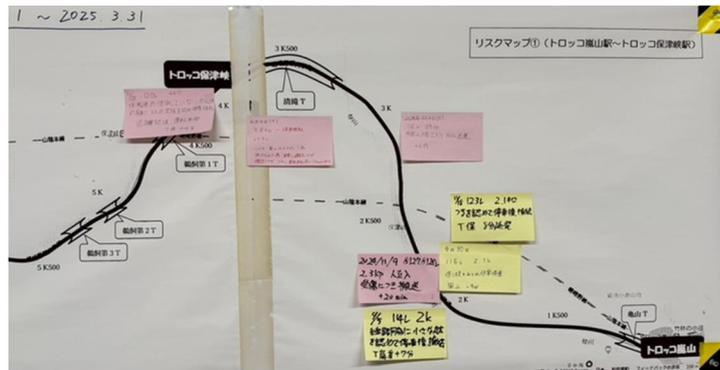


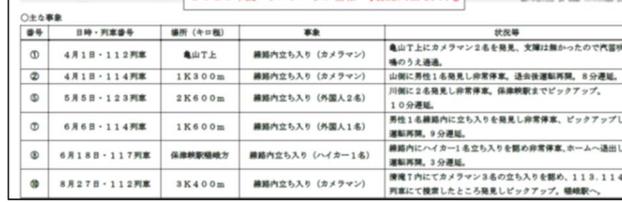
業 種	鉄道・軌道									
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用									
テ ー マ	路線図を用いた「リスクマップ」による情報共有、危機感受性向上の取組									
取組の狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の乗務員が感じたリスクについて、具体箇所を明示して情報共有することで他乗務員の注意意識が高まる。</li> <li>・仲間のリスク抽出行為が目に見えるため、相互協力意識が醸成され、リスク等の報告が活性化される。</li> <li>・乗務員だけではなく、リスク対策する部署とも情報連携し、フィードバックすることで安心感を与えるとともに会社全体の取組みとして昇華させる。</li> </ul>									
具体的内容	<p>乗務員は一人で乗務することが基本であり出勤日も様々であるため、運転中に得られたリスク情報や運転時の工夫（季節、天候等）、気づきをタイムリーに共有する機会が少なく、個人のみ情報として滞りがちである。</p> <p>そこで、2020年3月に乗務員の発案で、路線図を用いた「リスクマップ」によるリスクの“見える化”を行うとともに、経営管理部門は“見える化”された情報を基に、対策の実施可否や対策内容等を検討するなど、安全投資等の意思決定に活用している。</p> <div data-bbox="539 1003 1264 2020" style="border: 1px solid gray; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">2020年3月xx日</p> <p>乗務員各位 <span style="float: right;">鉄道部 安全推進課</span></p> <p style="text-align: center;">嵯峨野観光線リスクマップ作成について</p> <p>皆様、日々の業務お疲れ様です。</p> <p>表題の件につきまして、気がかり・リスクを共有するため、乗務中・便乗中・沿線作業中に発生した事象や気づいた点があれば付箋に書き込み、該当箇所に貼り付けるという取り組みを皆様に行っていただきたく存じます。</p> <p>その後、当該にて、洗い出されたリスクの特徴や大きさを理解するためにリスク分析を行います。皆様のご協力よろしくお願ひします。</p> <p>【詳細】</p> <p>リスクマップ①（トロッコ嵐山～保津峡駅）リスクマップ②（トロッコ保津峡～亀岡駅）に分かれています。</p> <p>事象の種別毎に色分けされた付箋に「発生日時」「キロ程」「列車番号」「内容その他」を記入し、該当箇所付近に貼り付けてください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="580 1460 1027 1792"> <p><b>リスクマップ</b></p> </div> <div data-bbox="1040 1460 1241 1680"> <p><b>付箋記入例</b></p> <p>6月22日（土）15：46 2K400m 第124列車 外国人男性1名 嵯峨まで保護 +10分</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>～付箋の色分け～</p> <table border="0"> <tr> <td>倒木、落石 …</td> <td style="background-color: #90EE90; width: 20px; height: 15px;"></td> <td>緑</td> </tr> <tr> <td>立入 …</td> <td style="background-color: #FFDAB9; width: 20px; height: 15px;"></td> <td>桃</td> </tr> <tr> <td>その他 …</td> <td style="background-color: #ADD8E6; width: 20px; height: 15px;"></td> <td>青</td> </tr> </table> </div> </div>	倒木、落石 …		緑	立入 …		桃	その他 …		青
倒木、落石 …		緑								
立入 …		桃								
その他 …		青								

1. 路線図を乗務員休憩所に掲示し、“乗務員がリスクと感じた情報”や“実際に体験したリスク情報”を事象毎に3種類に色分けした付箋紙に記入し、該当箇所貼り付けて乗務員相互に共有する。なお、路線図は路線図を途中駅のトロッコ保津峡駅を境に2分割して掲示し、付箋紙を貼り付けやすいものとした。



2. この情報を基に運転中の要注意箇所等を安全推進課が月1回把握し、リスクアセスメント鉄道部分科などで必要な対策について検討、実施する。

3. 年度末に1年間で得られた情報を発生事象別に分類し、それぞれの事象毎に3つの「リスクマップ」を作成し記録として残すとともに、リスクアセスメント鉄道部分科で毎月対応・対策のトレースを実施する。



	<p>4. 斜面防災や軌道等に関する情報は施設課等とも共有し、リスクアセスメント鉄道部分科などで早急に対応が必要なもの、中長期的に対応するものなど振り分け、結果を乗務員にフィードバックする。</p>
<p>取組の効果</p>	<p>1. 付箋紙に記入して貼り付けるだけという手軽さのため、報告しやすい環境が構築された。</p> <p>2. 個々の乗務員しか知らない情報を収集し共有することで、他の乗務員の気づきの感性が向上し、乗務員相互の安全意識が高まった。</p> <p>3. 施設課等の関係箇所への情報連携を行い、迅速に具体的な対応についてフィードバックを行う仕組みが確立されたことにより、会社全体の安全に関する対応力や意識が向上した。</p> <p>4. 「リスクマップ」の情報を基に、列車の運行に支障を及ぼしそうな樹木等の伐採計画を立て実施している他、頻繁に立入りが認められる箇所への注意看板の設置など具体的な対策を実施している。</p>
<p>事業者名</p>	<p>嵯峨野観光鉄道株式会社 鉄道部 075-871-3997</p>